

図111 地域ごとに情報を探する場合

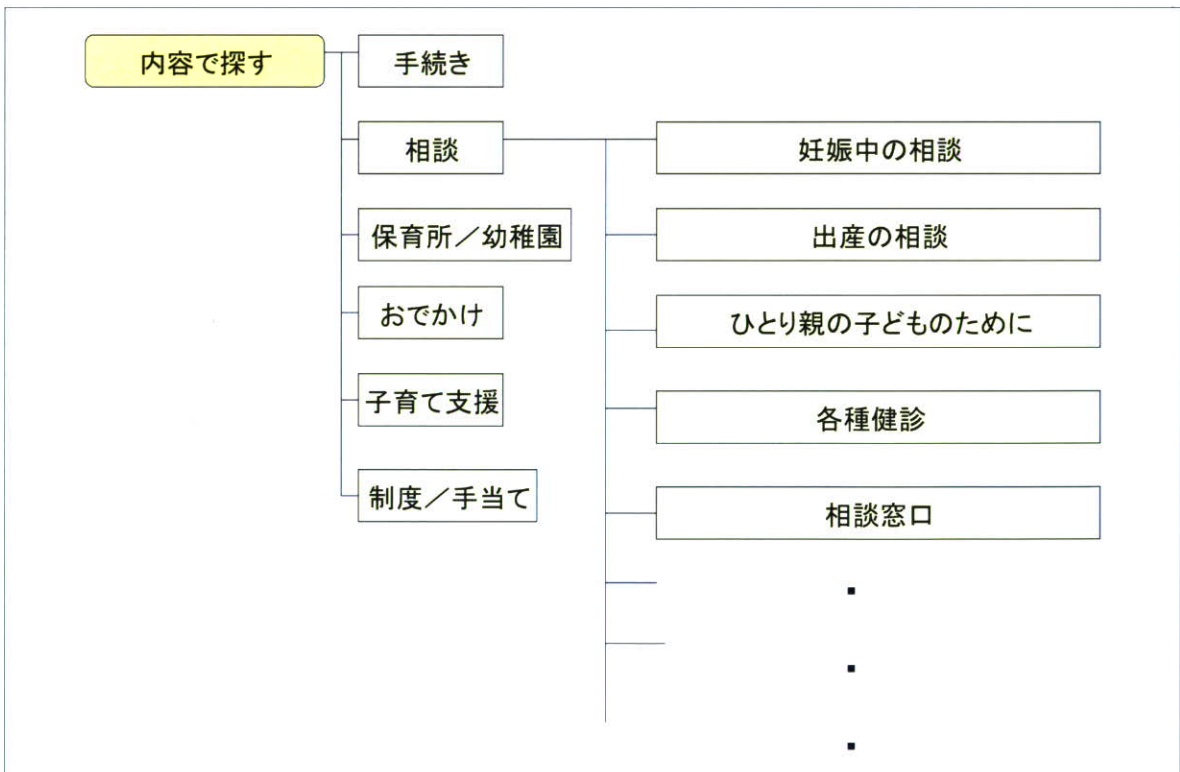


図112 内容ごとに情報を探する場合

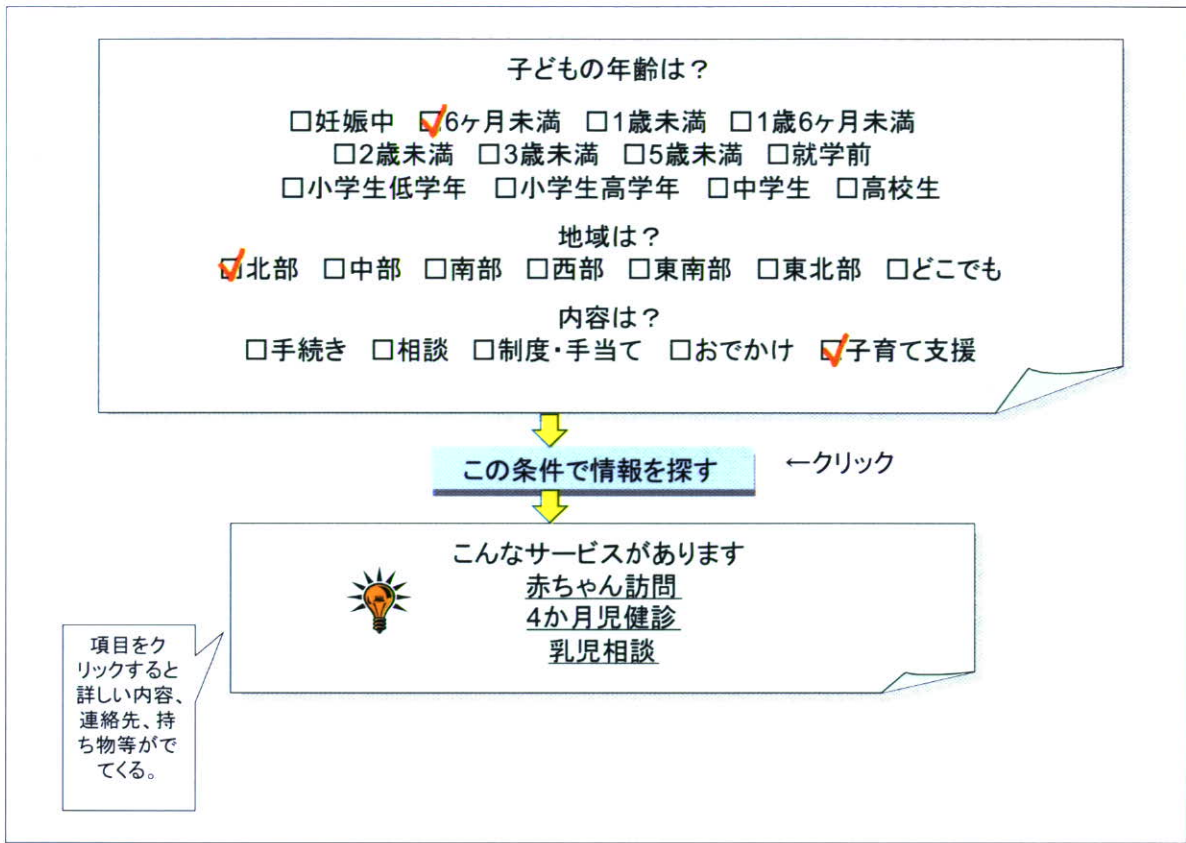


図113 ナビで情報を探する場合

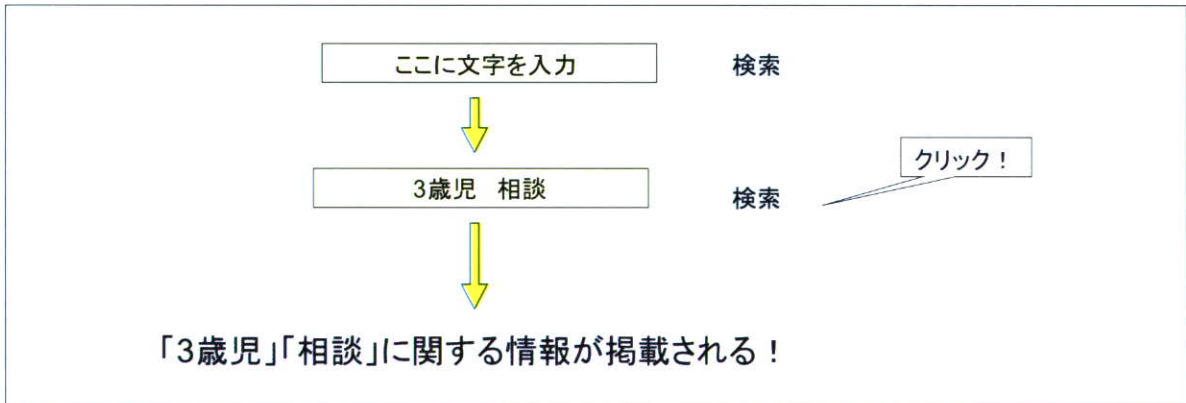


図114 検索して情報を探する場合



図115 相談して情報を探す場合

## 2. 平成18年（2006年）度から平成19年（2007年）度の2年間の研究期間の結論

2年間の研究期間で、次世代育成支援行動計画の進捗把握、評価、改善のための総合評価データベース・システムと、行動計画において提供される事業に関する情報を効率的に提供する情報提供・利用 portal site の叩き台を開発した。開発はM-D&Dのプロセスに従って実施し、フェーズⅢまでを完了した。

研究期間2年目の平成19年度で本研究を終了することとなったために、普及版の開発と、自治体への普及の試みは適わなかった。しかし、次世代育成支援行動計画の評価、ことに利用者評価を含む評価が施策評価として不可欠であり、その実施が自治体に義務付けられる状況となっており、本研究において叩き台として開発した総合評価データベース・システムは、施策評価に大いに貢献すると考えられ、広く普及する意義は極めて大きいと考える。

また、情報提供・利用 portal site については、民間情報の取り扱いや、site の維持、更新に関わる自治体の制約など、越えなければなら

ないハードルはあるが、わかりやすい情報の提供を求める市民の声が極めて高く、本研究の成果である情報提供・利用 portal site の叩き台も、採用可能性のある自治体でのカスタマイズを通して普及していく意義は大きいと考える。

## 平成18～19年度の研究体制

### 〈ワーキング・グループ〉

主任研究者 芝野 松次郎（関西学院大学 教授）

研究協力者 小野セレスタ 摩耶（関西学院大学 研究員）

研究協力者 板野 美紀（関西学院大学 研究員）

研究協力者 原 佳央理（相愛大学 講師）

研究協力者 山岡 美智子（関西学院大学 大学院生）

研究協力者 森際 孝司（京都光華女子大学短期大学部 教授）

研究協力者 荒牧 菜実（(株) タンバリン・プロデューサーズ 代表取締役）

研究協力者 佐藤 孝行（有限会社 アールエスソリューション 代表取締役）

研究協力者 片岡 千春（(株) タンバリン・プロデューサーズ 製作部コンテンツ室）

### 〈研究会〉

#### 【次世代育成地域行動計画の評価データベースの開発研究会】

肥爪 勝幸（伊丹市こども部こども室長）

三橋 真記（伊丹市こども部こども室 主幹）

多田 勝志（伊丹市こども部こども室 こども企画課長）

高代真由美（伊丹市こども部こども室 こども企画課 主査）

木村 克治（伊丹市こども部こども室 こども企画課 主査）

鈴木 稲弘（伊丹市こども部こども室 子育て支援課長）

#### 【総合的情報コーディネート・システムの開発研究会】

東郷ミチ子（宝塚市子ども未来部子ども室 子ども政策課 課長）

橋本 摩利（宝塚市子ども未来部子ども室 子ども政策課 係長）

大上 貫市（宝塚市子ども未来部子ども室 子ども家庭支援センター 所長）

多々納照子（宝塚市子ども未来部子ども室 子ども家庭支援センター 係長）

松永 則子（宝塚市子ども未来部子ども室 子ども家庭支援センター 係長）

### 〈オブザーバー〉

太田 和男（厚生労働省 雇用均等・児童家庭局 児童福祉専門官）

柏女 霊峰（淑徳大学 総合福祉学部社会福祉学科 教授）

才村 純（日本子ども家庭総合研究所 子ども家庭福祉研究部 ソーシャルワーク研究担当部長）

研究成果の刊行に関連する一覧表

発表者	論文／本タイトル	発表誌名／出版社	巻号	ページ	出版年
芝野松次郎	エビデンス・ベースト・ソーシャルワークの特質① —量的分析、開発的研究の立場から—	ソーシャルワーク 研究	第34巻 1号	掲載決定	2008
芝野松次郎	エビデンスに基づくソーシャルワーク実践の科学化 —実践事例の分析とその理論化—	社会福祉実践理論 研究	第17号	掲載決定	2008
芝野松次郎	「社会福祉領域における援助」『対人援助の心理学：朝倉心理学講座』海保博之 監修／望月昭 編	朝倉書店			2007
Shibano, M.	“In Search of Evidence of a Child’s Best Interests: Bridging Research & Practice in Social Work.” In Furukawa, A. <i>Frontiers of Social Research Japan &amp; Beyond.</i>	Trans Pacific Press		総頁数 351	2007
石田賀奈子・ 芝野松次郎・ 原佳央理・ 山岡美智子	児童福祉施設におけるファミリーソーシャルワーク実践に関する研究：乳児院への実態調査の結果から	子どもの虐待とネ グレクト	第9号 1巻	pp. 25-36	2007
木村容子・ 芝野松次郎	「里親の里子養育に対する支援ニーズと「専門里親潜在性」の 分析に基づく専門里親と支援のあり方についての検討」	社会福祉学	47号	16-29	2006
野口啓示・ 芝野松次郎・ 李政元	「因子分析を用いた尺度開発手法を活用した開発的研究—被 虐待児の親教育支援のためのビデオ教材の開発」	社会福祉実践理論 研究	15号	27-41	2006
石田加奈子・ 芝野松次郎・ 山岡美智子・ 原佳央理	「児童養護施設におけるファミリーソーシャルワーカーの役 割分析～エキスパートインタビューの分析を通して～」	子ども家庭福祉学	6号		2006
Shibano, M.	“Chapter 13: In Search of Evidence of a Child’s Best Interests: Bridging Research and Practice in Social Work.”	Advanced Social Research Series	2	272-305	2006
芝野松次郎	「社会福祉実践（ソーシャルワーク）における研究方法を問 う（1）—1. 量的調査を活用した開発的研究」	社会福祉実践理論 研究	15号	67-89	2006
芝野松次郎・ 野口啓示	「社会福祉実践（ソーシャルワーク）における研究方法を問 う（2）—2. 量的調査を活用した開発的研究」	社会福祉実践理論 研究	15号	107-110	2006
芝野松次郎	『児童福祉施設におけるファミリーソーシャルワーク実践に 関する実態調査 報告書』			総頁数 144	2006